

SIP次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ（第4回）  
議事要旨

1. 日時：平成27年4月3日（金）13:00～16:00

2. 場所：国立研究開発法人海洋研究開発機構 SIP連絡室 会議室

3. 出席者：

（議長） 浦辺 徹郎 プログラムディレクター（PD）

（SubPD/PD代理）

浦 環 九州工業大学 社会ロボット具現化センター センター長、特別教授

（SubPD）堀田 平 海洋研究開発機構\* 理事

辻本 崇史 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 理事

（研究機関）

池原 研 産業技術総合研究所\*地質情報研究部門 首席研究員

山崎 徹 産業技術総合研究所\*地殻岩石研究グループ 主任研究員

木川 栄一 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム長

磯崎 芳男 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム長代理

熊谷 英憲 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム  
主任技術研究員（代理出席）

吉田 弘 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム  
AUV 複数機システム開発ユニットリーダー

村島 崇 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム  
ROV システム開発ユニットリーダー

川口 勝義 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム  
長期観測システム開発ユニットリーダー

山本 啓之 海洋研究開発機構\*次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチーム  
生態系観測手法開発ユニットリーダー

田村 兼吉 海上技術安全研究所\* 研究統括主幹

林 輝幸 港湾空港技術研究所\* 企画課 課長補佐（代理出席）

松本 さゆり 湾空港技術研究所\* 海洋インフラ技術推進センター 上席研究官（代理出席）

久保田 隆二 一般社団法人海洋調査協会 SIPプロジェクト推進室長

浅川 栄一 次世代海洋資源調査技術研究組合 技術部長

豊嶋 守生 情報通信研究機構\*ワイヤレスネットワーク研究所  
宇宙通信システム研究室長

吉村 直子 情報通信研究機構\*ワイヤレスネットワーク研究所宇宙通信システム研究室  
研究マネージャー

越川 海 国立環境研究所\* 地域環境研究センター海洋環境研究室 室長  
※ 国立研究開発法人

（オブザーバー）

内閣府、総合海洋政策本部、総務省、文部科学省、国土交通省海事局、国土交通省港湾局、  
環境省

（事務局）

国立研究開発法人海洋研究開発機構 次世代海洋資源調査技術研究開発プロジェクトチ

## ーム 企画調整ユニット

### 4. 議事：

- (1) 開会挨拶
- (2) 各研究課題の平成27年度計画説明
- (3) その他
  - ・今後のスケジュール等

### 5. 配付資料

- 資料1 海洋資源の成因に関する科学的研究（海洋研究開発機構）
- 資料2 海洋資源の成因に関する科学的研究（産業技術総合研究所）
- 資料3 AUV複数運用手法等の研究開発－高効率小型システム－（海上技術安全研究所）
- 資料4 AUV複数運用手法等の研究開発－高機能システム－（海洋研究開発機構）
- 資料5 ROVによる高効率海中作業システムの開発（海洋研究開発機構）
- 資料6 ROVによる高効率海中作業システムの開発－音響ビデオカメラ高度化等－（港湾空港技術研究所）
- 資料7 海洋資源調査システム・運用手法の開発－航走観測を主体とした熱水鉱床探査－（一般社団法人海洋調査協会）
- 資料8 海洋資源調査システム・運用手法の開発－段階別・統合調査手法の確立－（次世代海洋資源調査技術研究開発組合）
- 資料9 衛星を活用した高速通信技術の開発（情報研究開発機構）
- 資料10 海洋生態系観測と変動予測手法の開発（海洋研究開発機構）
- 資料11 海洋生態系観測と変動予測手法の開発（国立環境研究所）
- 資料12 ケーブル式観測システムの開発（海洋研究開発機構）
- 資料13 平成27年度計画作成までの進め方
- 資料14 平成27年度の自己点検・評価のスケジュール（案）
- 参考資料1 SIP次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ構成員名簿
- 参考資料2 SIP次世代海洋資源調査技術推進委員会・調査検討ワーキンググループ（第3回）議事概要

## 6. 議事要旨

### (1) 開会挨拶

浦辺 PD より開会の挨拶があった。

### (2) 各研究課題の平成 27 年度計画説明

各研究開発課題の研究代表者から平成26年度の進捗、平成30年度までの全体計画および平成27年度の実施計画について説明があり、これらについて議論を行った。

### (3) その他

- ・平成 27 年度計画作成の進め方及び平成 27 年度の自己点検・評価のスケジュール（案）について事務局および内閣府から説明があった。
- ・論文発表等の成果に関する情報等を一元化してとりまとめてほしい旨の提案があった。

以上